


# ナウロック



 共和コンクリート工業株式会社

大自然の息づかいが聞こえる……この豊



# かな環境を私たちは守っていききたい。



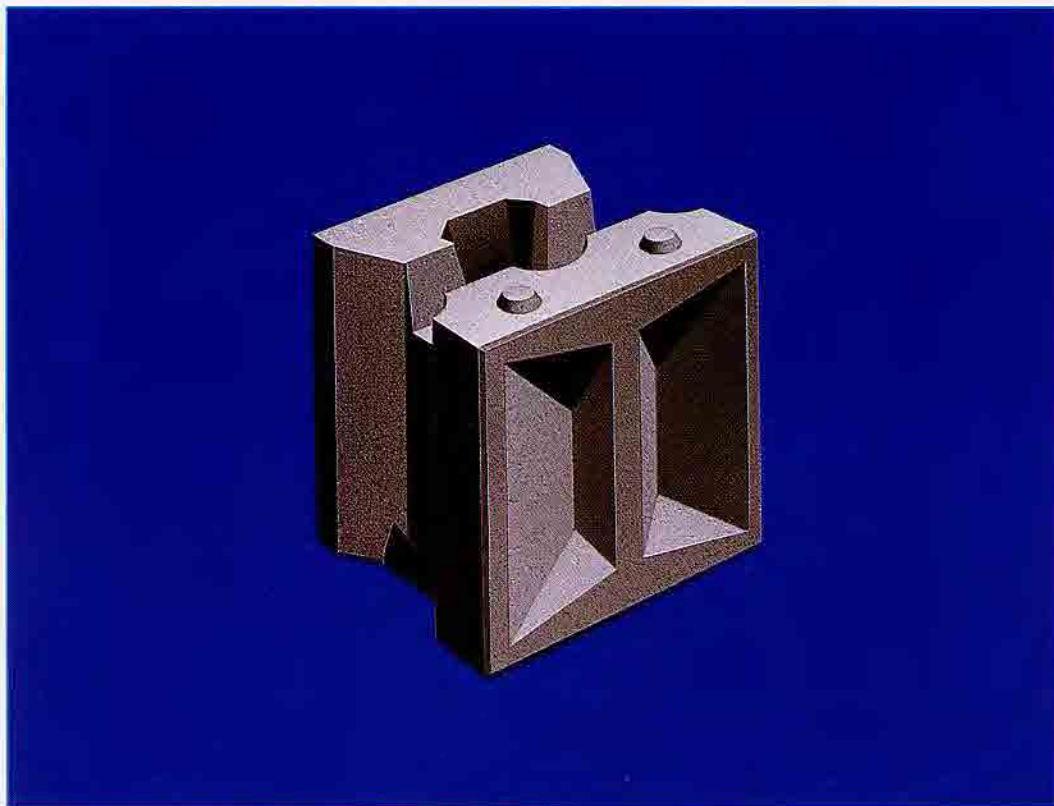
## 目 次

特長・用途	3
規格諸元	4
規格寸法図	5~12
●50型	5
●70型	7
●100型	9
●150型	11
標準組積図・標準断面図	13~14
●標準組積図(幾何学模様・擬石模様)	13
●標準断面図	14
擬石模様	15
数量算出	16
●数量算出式・数量算出例	16
擁壁の設計について	17~19
基礎工・曲線部の設計	20
施工要領	21
施工写真	22~26

かけがえのない自然。私達はこれを次世代の人々に受け渡していかなければなりません。

自然と生活空間のバランスよい創造は景観を向上させ、調和させます。

ナウロックは道路・河川・公園などの機能空間に景観を損なうことなく溶け込み、自然と人との快適なコミュニケーションづくりに役立ちます。



### 特 長

- ナウロックは大型なので、工期は大幅に短縮され、また作業の省力化が図れます。
- 中空部に石礫を多量に内蔵しますので、工費が低減されます。
- 空洞部は中込め材の投入が容易であり、浸透水はすみやかに排出されます。
- 現場の状況によって、空積・練積のどちらでも対応できます。
- 係合突起は円錐状になっていますので、曲線部の対応も容易です。
- 周囲の状況に応じて、幾何学模様または擬石模様のどちらかの表面を選択すれば、景観によく合った擁壁となります。

### 用 途

- 道路、鉄道などの土留擁壁工
- 河川、ダムなどの護岸法留工
- 砂防、治山などの土留山腹工
- 地すべり、急傾斜地などの崩壊対策工
- 宅地造成などの土留擁壁工
- 風致地区、観光地、学校などの景観保全工



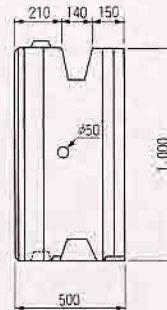
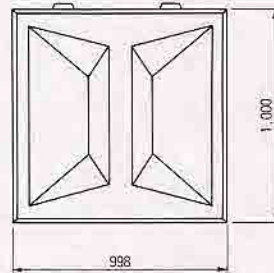
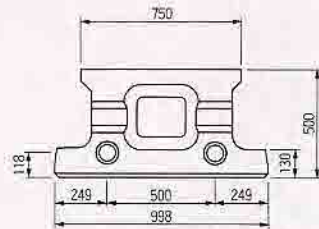
### 規格諸元

呼び名	主要部寸法 高さ×幅×控長 (mm)	幾何学模様		擬石模様		型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )	
		体積(m <sup>3</sup> )	参考質量(kg)	体積(m <sup>3</sup> )	参考質量(kg)			
50型	A形	1,000×998×500	0.2881	662	0.3225	741	3.96	1
	B形	1,000×1,498×500	0.4584	1,054	0.5074	1,167	5.85	—
	C形	500×998×500	0.1466	337	0.1611	370	2.29	—
	D形	500×1,498×500	0.2331	536	0.2528	581	3.43	—
70型	A形	1,000×998×700	0.4732	1,088	0.5077	1,167	4.67	1
	B形	1,000×1,498×700	0.7388	1,699	0.7878	1,811	6.31	—
	C形	500×998×700	0.2407	553	0.2552	586	2.83	—
	D形	500×1,498×700	0.3766	866	0.3963	911	4.14	—
100型	A形	1,000×998×1,000	0.5767	1,326	0.6112	1,405	6.01	1
	B形	1,000×1,498×1,000	0.9024	2,075	0.9513	2,187	8.33	—
	C形	500×998×1,000	0.2994	688	0.3139	721	3.68	—
	D形	500×1,498×1,000	0.4678	1,075	0.4875	1,121	5.44	—
150型	A形	1,000×998×1,500	0.7346	1,689	0.7690	1,768	8.00	1
	B形	1,000×1,498×1,500	1.1483	2,641	1.1972	2,753	11.33	—
	C形	500×998×1,500	0.3959	910	0.4104	943	4.98	—
	D形	500×1,498×1,500	0.6204	1,426	0.6401	1,472	7.37	—

### A形(基本)

#### 規格諸元

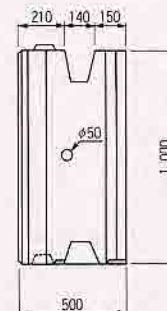
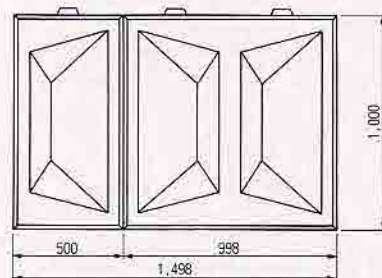
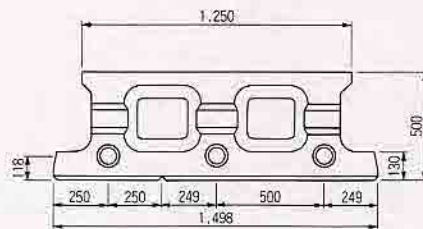
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×998×500	0.2881	662	3.96	1



### B形(端部)

#### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×1,498×500	0.4584	1,054	5.85	—

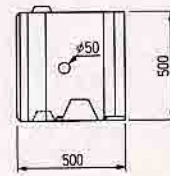
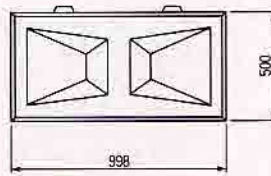
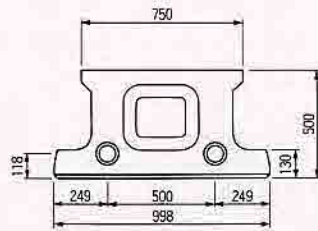


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

## C形(基本 $\frac{1}{2}$ )

### 規格諸元

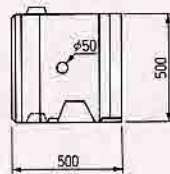
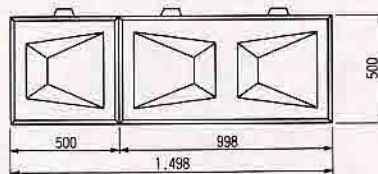
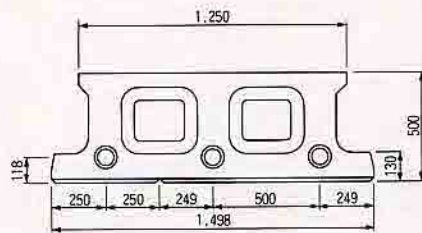
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 ( $m^3$ )	参考質量 (kg)	型枠面積 ( $m^2$ )	使用数 (個/ $m^2$ )
500×998×500	0.1466	337	2.29	—



## D形(端部 $\frac{1}{2}$ )

### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 ( $m^3$ )	参考質量 (kg)	型枠面積 ( $m^2$ )	使用数 (個/ $m^2$ )
500×1,498×500	0.2331	536	3.43	—

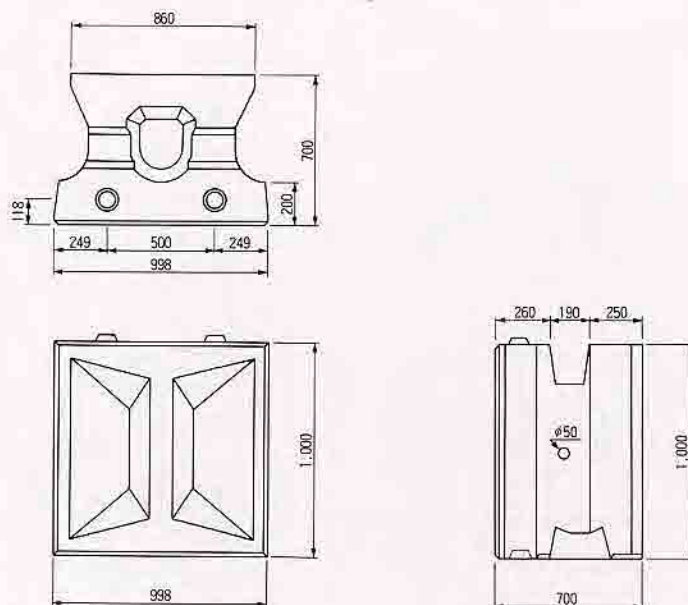


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

### A形(基本)

#### 規格諸元

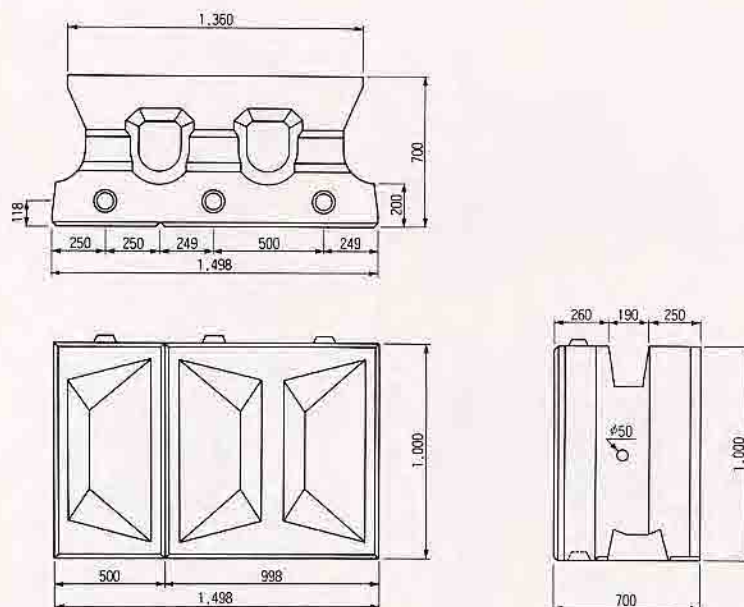
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×998×700	0.4732	1,088	4.67	1



### B形(端部)

#### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×1,498×700	0.7388	1,699	6.31	-



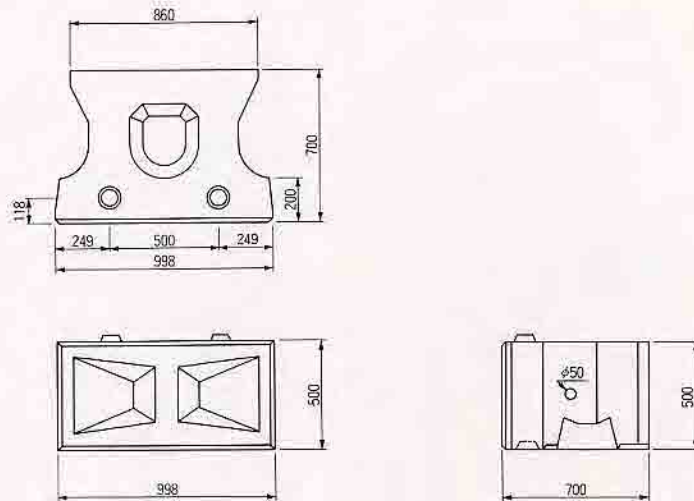
(注) 図面は左形ですが右形もあります。



## C形(基本 $\frac{1}{2}$ )

### 規格諸元

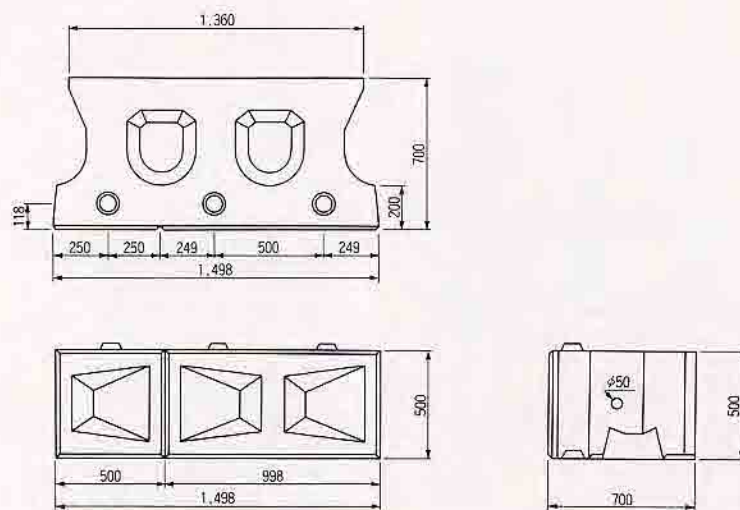
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 ( $m^3$ )	参考質量 (kg)	型枠面積 ( $m^2$ )	使用数 (個/ $m^2$ )
500×998×700	0.2407	553	2.83	—



## D形(端部 $\frac{1}{2}$ )

### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 ( $m^3$ )	参考質量 (kg)	型枠面積 ( $m^2$ )	使用数 (個/ $m^2$ )
500×1,498×700	0.3766	866	4.14	—

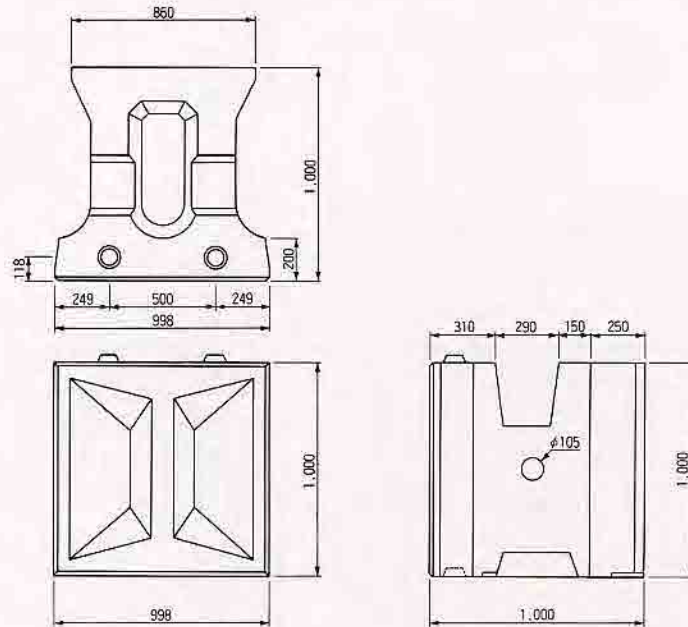


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

### A形(基本)

#### 規格諸元

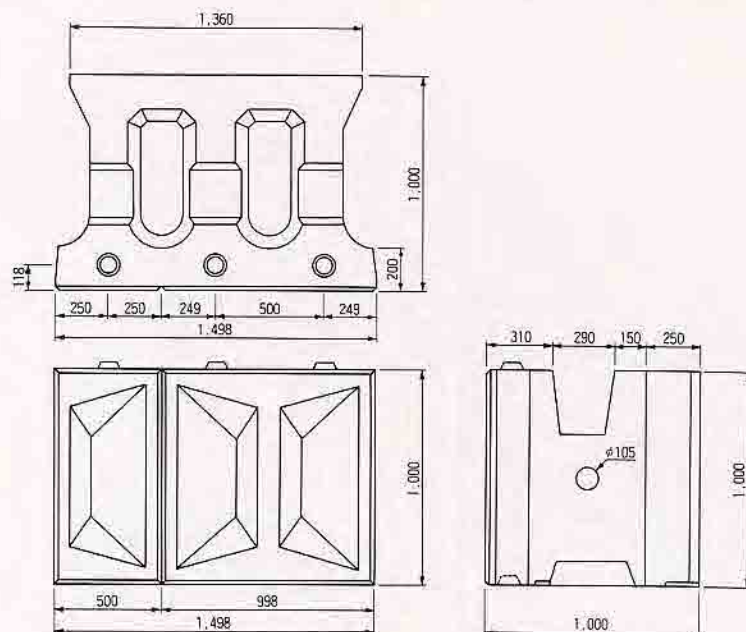
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×998×1,000	0.5767	1,326	6.01	1



### B形(端部)

#### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×1,498×1,000	0.9024	2,075	8.33	—

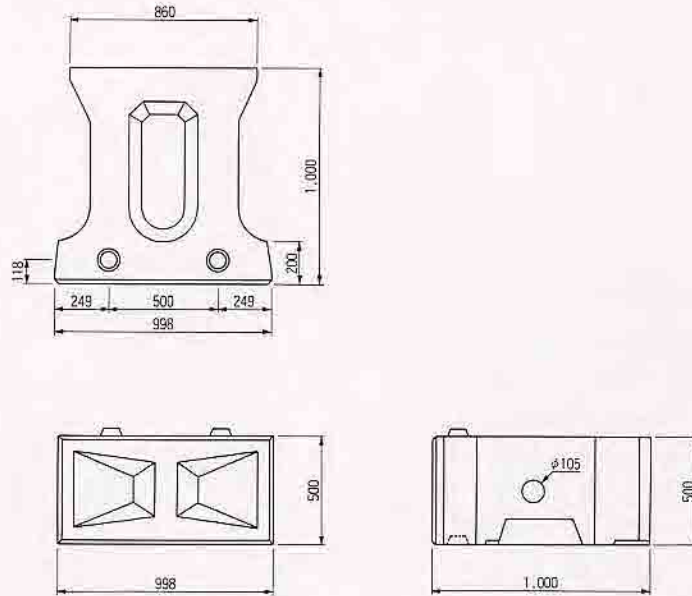


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

## C形(基本<sup>1</sup>/<sub>2</sub>)

### 規格諸元

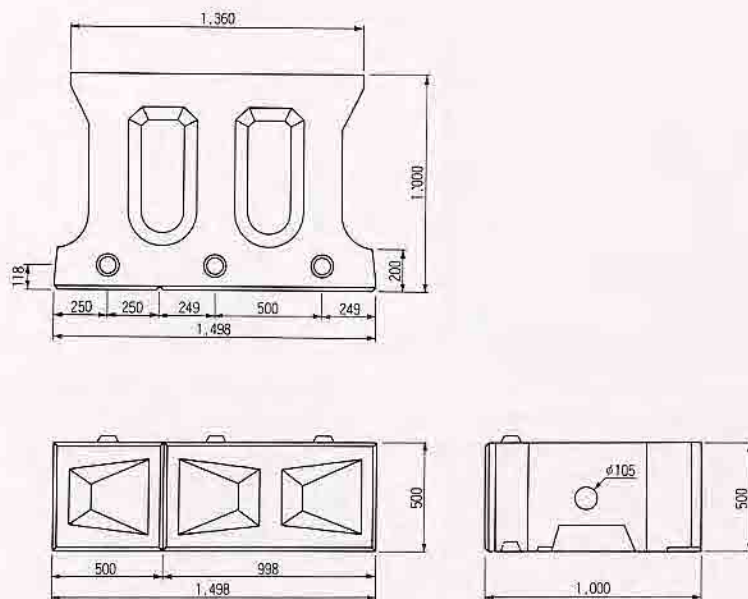
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
500×998×1,000	0.2994	688	3.68	-



## D形(端部<sup>1</sup>/<sub>2</sub>)

### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
500×1,498×1,000	0.4678	1,075	5.44	-

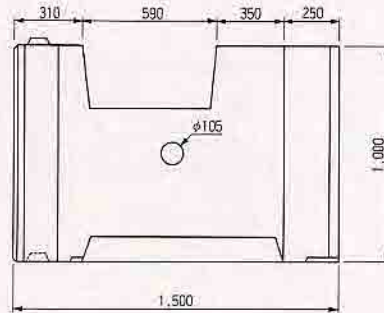
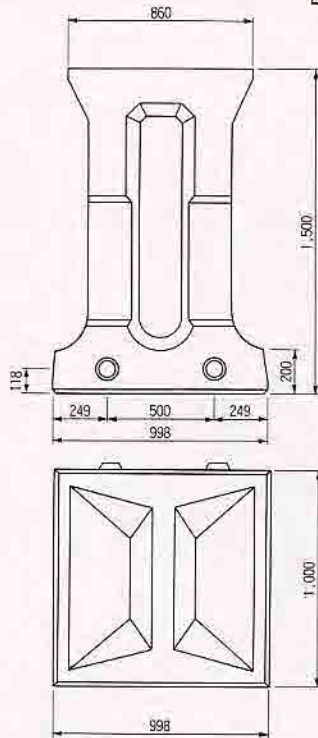


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

### A形(基本)

#### 規格諸元

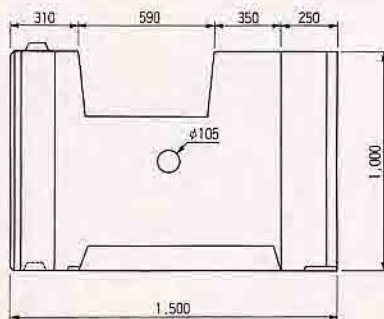
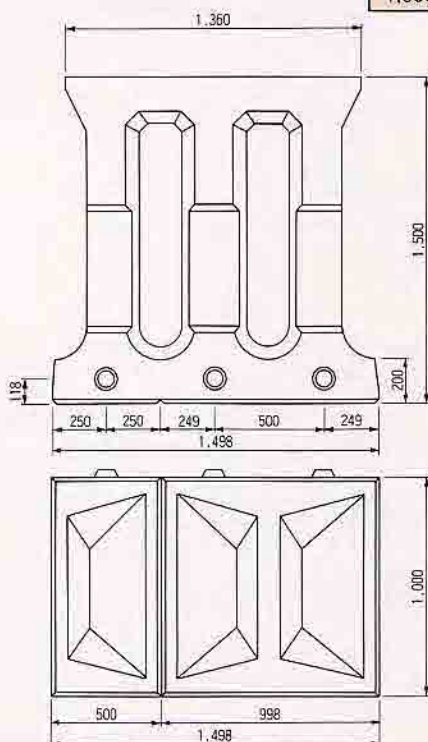
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×998×1,500	0.7346	1,689	8.00	1



### B形(端部)

#### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
1,000×1,498×1,500	1.1483	2,641	11.33	-

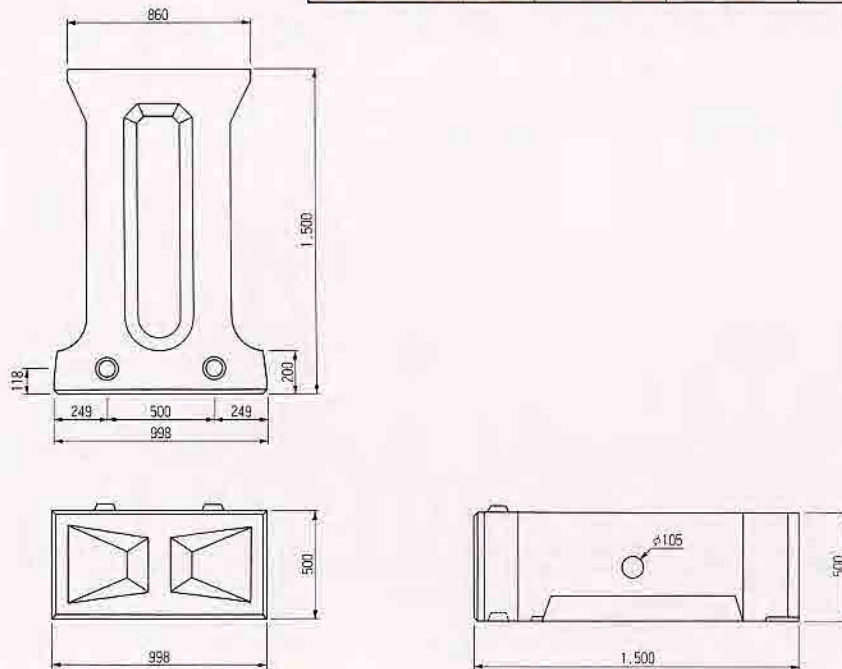


(注) 図面は左形  
ですが右形  
もあります。

### C形(基本<sup>1/2</sup>)

#### 規格諸元

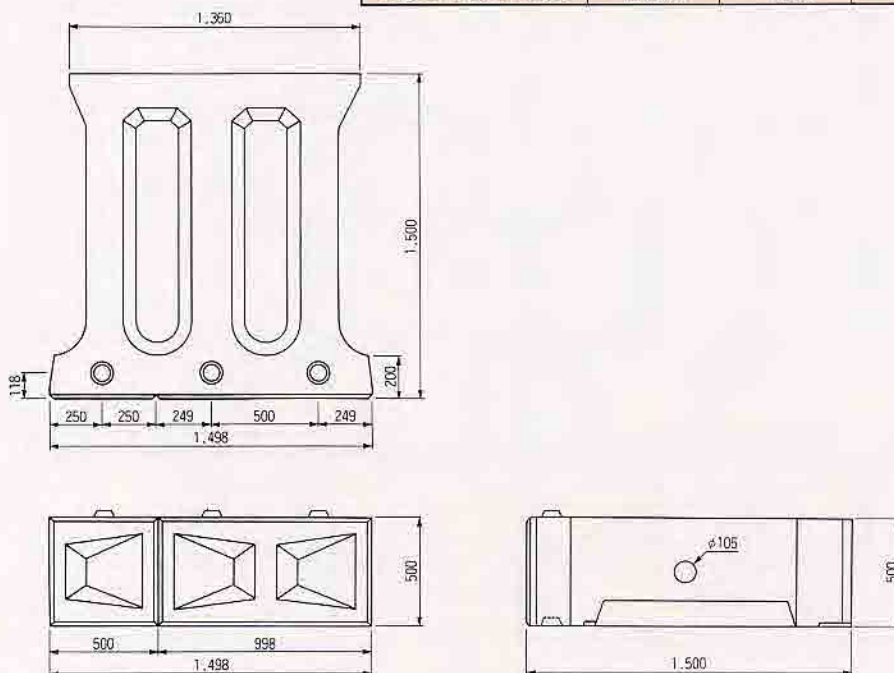
主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
500×998×1,500	0.3959	910	4.98	-



### D形(端部<sup>1/2</sup>)

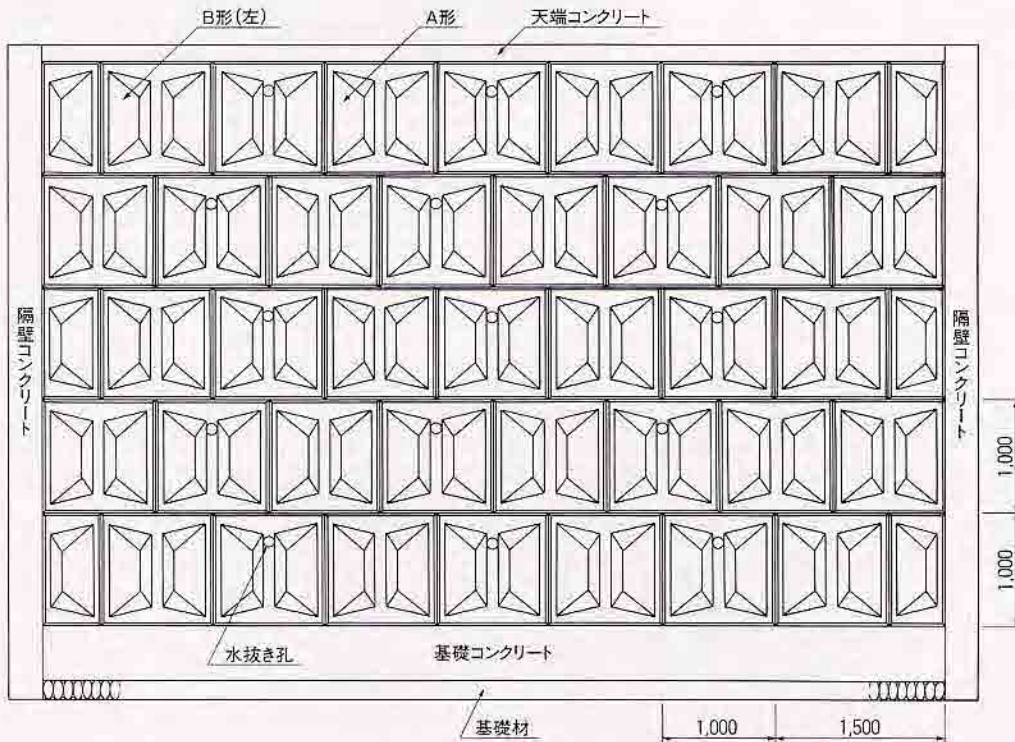
#### 規格諸元

主要部寸法 高さ×幅×控長(mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
500×1,498×1,500	0.6204	1,426	7.37	-

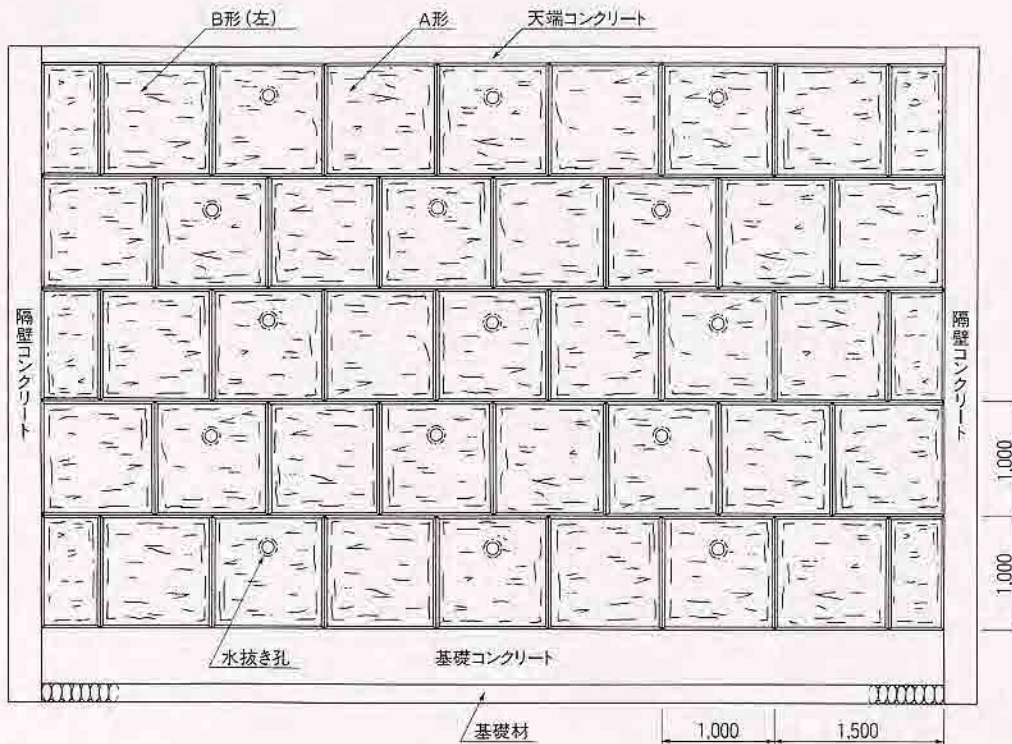


(注) 図面は左形ですが右形もあります。

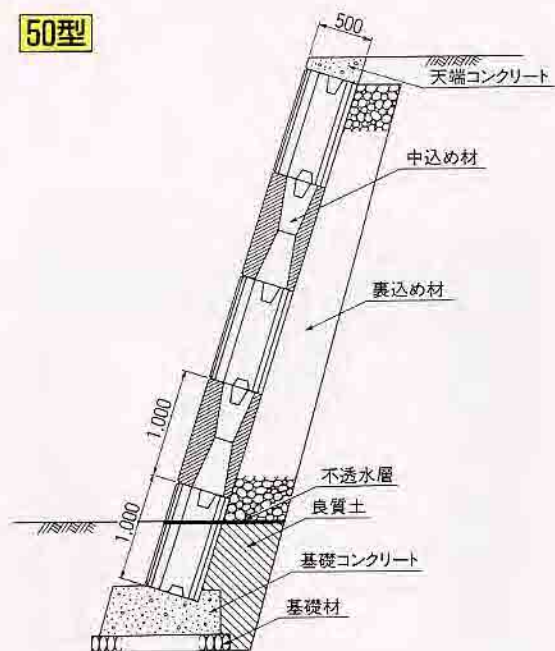
### 幾何学模様



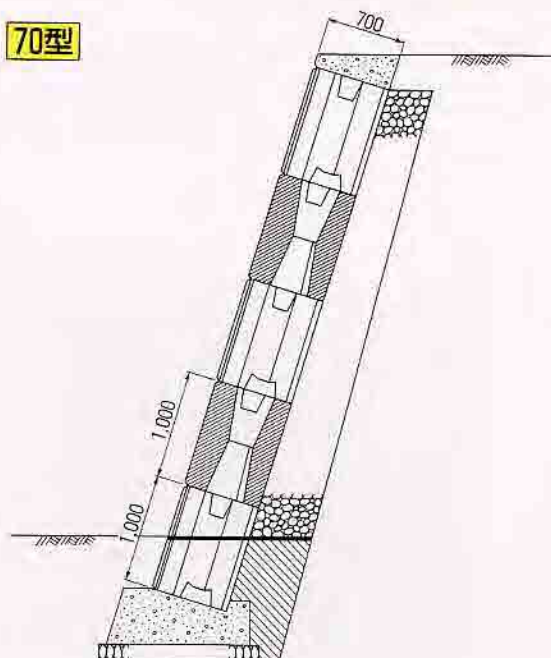
### 擬石模様



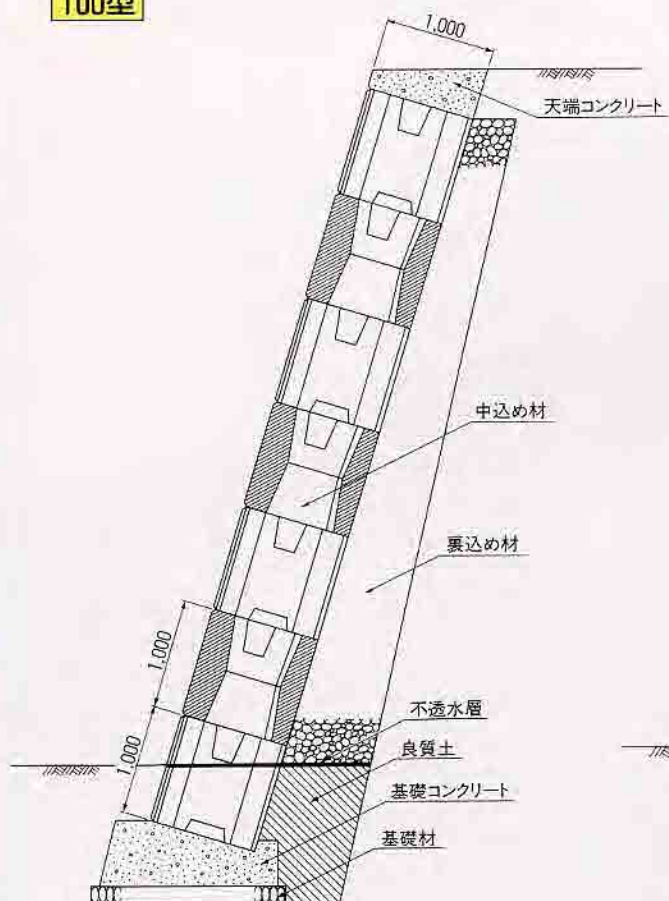
**50型**



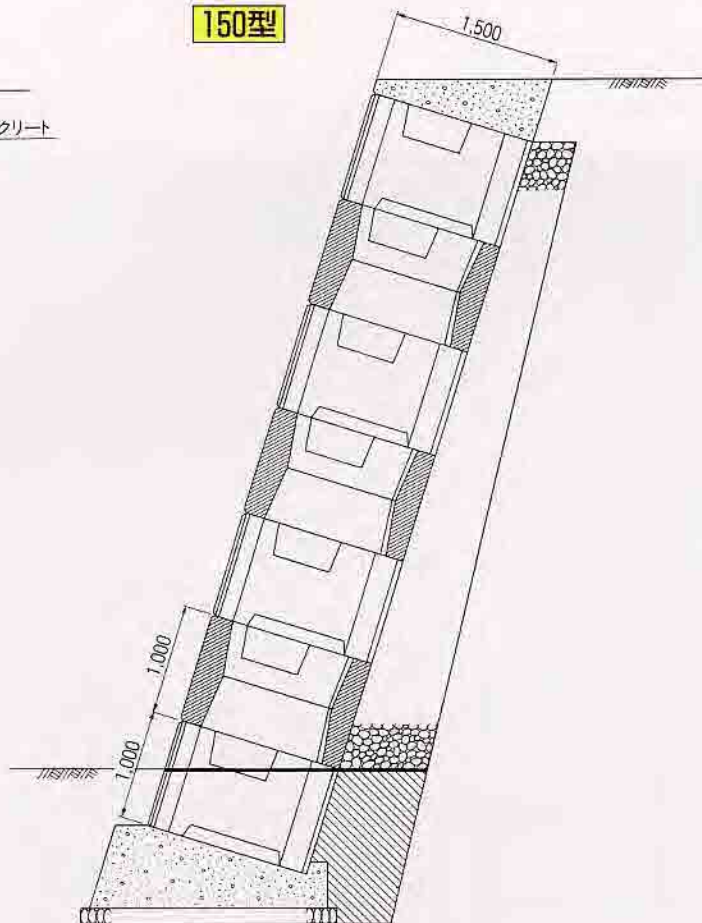
**70型**



**100型**

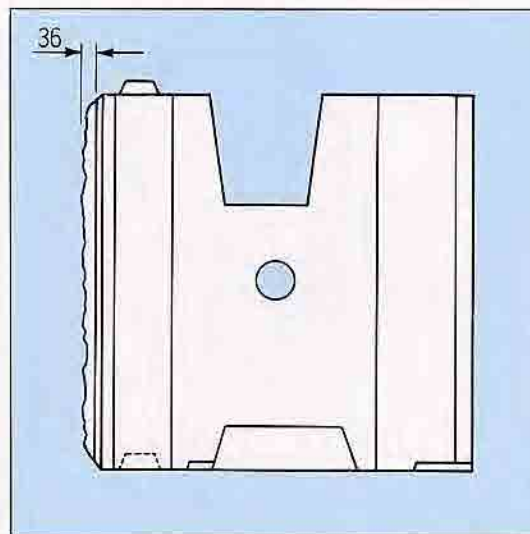


**150型**



(注) 河川護岸または擁壁前面に水位がある場合には、斜線部を裏込め材とします。

ブロックの表面は、規格寸法図に示す幾何学模様のほかに、擬石模様も用意しており、自然にマッチした景観を創出します。(模様の最大突起高は36mm)





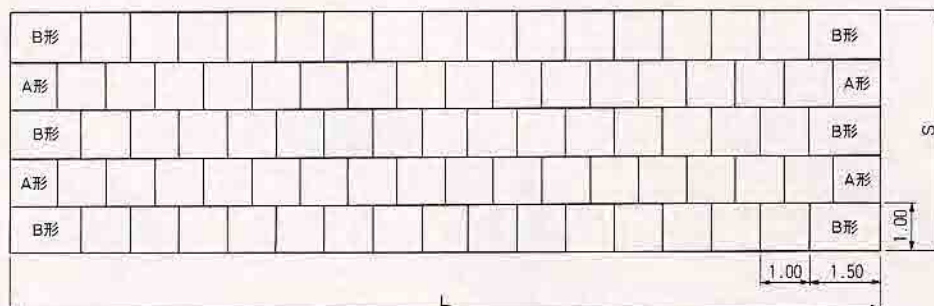
## 数量算出式

施工区画に対するブロックおよび中込め材の標準所要量は、次式によって求めます。ただし、同型のブロックで積み上げた場合です。

名 称		施工段数が奇数の場合	施工段数が偶数の場合
ブロック数	A 形	$N_A = S \cdot L - \frac{3}{2}(S+1)$	$N_A = S \cdot L - \frac{3}{2} \cdot S$
	B 形	$N_B = S+1$	$N_B = S$
中込め材量	50型	コンクリート	$V_c = 0.194 \cdot S \cdot L$
		クラッシュラン	$V_c = 0.165 \cdot S \cdot L$
	70型	コンクリート	$V_c = 0.208 \cdot S \cdot L$
		クラッシュラン	$V_c = 0.172 \cdot S \cdot L$
	100型	コンクリート	$V_c = 0.401 \cdot S \cdot L$
		クラッシュラン	$V_c = 0.359 \cdot S \cdot L$
	150型	コンクリート	$V_c = 0.742 \cdot S \cdot L$
		クラッシュラン	$V_c = 0.646 \cdot S \cdot L$

$N_A$  : A形のブロック数(個)     $N_B$  : B形のブロック数(個)     $V_c$  : 中込め材量(m<sup>3</sup>)

S : 施工法長(m)    L : 施工延長(m)



注1) 施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合、またはC形、D形を使用する場合は別途算出します。  
 注2) 練積の場合は中込め材量としてコンクリートを計上し、空積はクラッシュランを計上します。

## 数量算出例

区 分		単位	施工延長20.00 m										
施 工 段 数	段		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
施 工 法 長	m		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00	10.00	
施 工 面 積	m <sup>2</sup>		20.0	40.0	60.0	80.0	100.0	120.0	140.0	160.0	180.0	200.0	
ブ ッ ク 数	A 形	個	17	37	54	74	91	111	128	148	165	185	
	B 形	個	2	2	4	4	6	6	8	8	10	10	
中 込 め 材 量	50型	コンクリート	m <sup>3</sup>	3.88	7.76	11.64	15.52	19.40	23.28	27.16	31.04	34.92	38.80
		クラッシュラン	m <sup>3</sup>	3.30	6.60	9.90	13.20	16.50	19.80	23.10	26.40	29.70	33.00
	70型	コンクリート	m <sup>3</sup>	4.16	8.32	12.48	16.64	20.80	24.96	29.12	33.28	37.44	41.60
		クラッシュラン	m <sup>3</sup>	3.44	6.88	10.32	13.76	17.20	20.64	24.08	27.52	30.96	34.40
	100型	コンクリート	m <sup>3</sup>	8.02	16.04	24.06	32.08	40.10	48.12	56.14	64.16	72.18	80.20
		クラッシュラン	m <sup>3</sup>	7.18	14.36	21.54	28.72	35.90	43.08	50.26	57.44	64.62	71.80
	150型	コンクリート	m <sup>3</sup>	14.84	29.68	44.52	59.36	74.20	89.04	103.88	118.72	133.56	148.40
		クラッシュラン	m <sup>3</sup>	12.92	25.84	38.76	51.68	64.60	77.52	90.44	103.36	116.28	129.20

擁壁の安定については、下記の条件により計算を行うものとします。

### 設計条件

裏込め土の種類	土の内部摩擦角( $\phi$ )	土の単位体積質量( $\gamma$ )
礫質土	35°	2.0 t/m <sup>3</sup>
砂質土	30°	1.9 t/m <sup>3</sup>
粘性土	25°	1.8 t/m <sup>3</sup>

- 擁壁背面摩擦角 —  $\delta = 2/3\phi$  (コンクリートと土)
- 中込め材の単位体積質量 — コンクリートの場合 2.30 t/m<sup>3</sup>  
— クラッシュランの場合 1.70 t/m<sup>3</sup>
- コンクリートの単位体積質量 —  $\gamma_c = 2.30$  t/m<sup>3</sup>
- 基礎底面摩擦係数 —  $\mu = 0.6$
- 載荷重 — 活荷重  $q = 1.0$  t/m<sup>2</sup>

擁壁背後の地表面に活荷重などの載荷重が作用する場合は、これを考慮します。  
一般に道路擁壁では、道路の全幅員にわたり1.0 t/m<sup>2</sup>の載荷重を考慮しています。

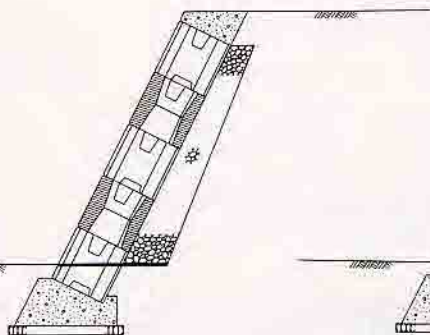
### 安定条件

転倒	$e \leq b/6$ (e: 偏心距離, b: 基礎底面幅)
滑動	$F \geq 1.5$ (F: 滑動安全率)
地盤反力	$Q \leq Q_a$ ( $Q_a$ : 許容地耐力)

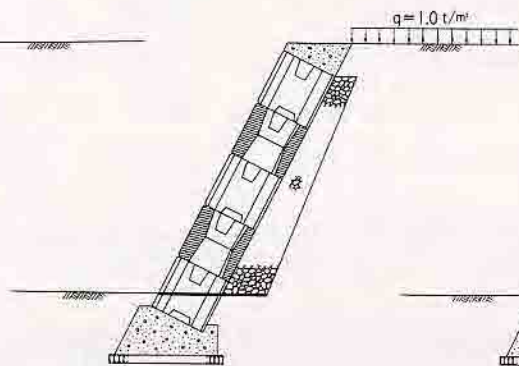
### 背面条件

#### 盛土

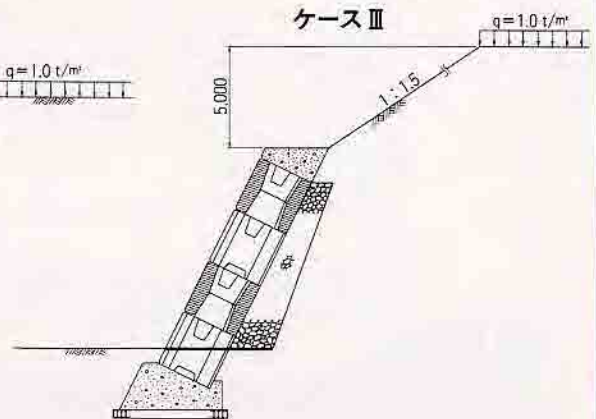
ケースI



ケースII

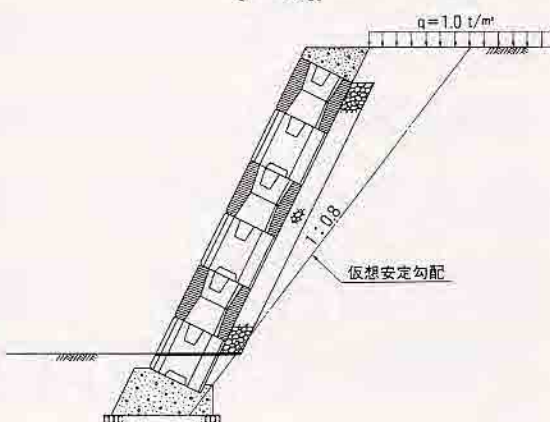


ケースIII

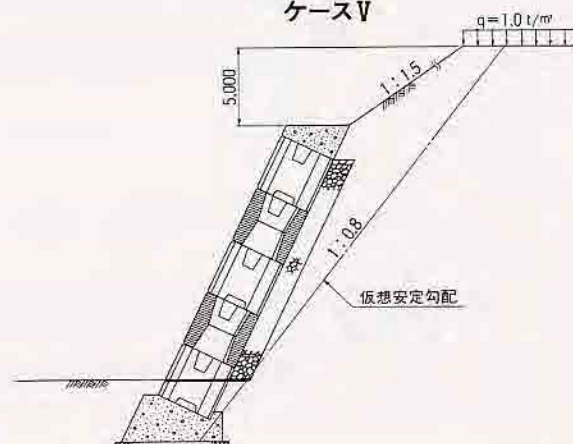


#### 切土

ケースIV



ケースV



# 許容限界高

## 空積の場合

単位：段

法勾配	土の内部摩擦角 (φ)	50型					70型					100型					150型				
		I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V
1:0.3	35°	2.5	2	1	2	1.5	4	3	1.5	3	2	5.5	4.5	2.5	4.5	3	7	7	3.5	7.5	4.5
	30°	2	1	—	1	1	3	2	—	2	1.5	4	3	0.5	3	2	6	5	1.5	5	3.5
	25°	1.5	0.5	—	0.5	0.5	2	1	—	1.5	1	3	2	—	2	1.5	4.5	3.5	—	3.5	2.5
1:0.4	35°	3.5	2.5	1.5	2.5	2	5	4	2	4	3	7	6	3	6	4.5	8.5	8.5	5	8.5	6.5
	30°	2.5	1.5	—	1.5	1.5	3.5	2.5	—	2.5	2	5	4	1	4	3	7.5	6.5	2	6.5	4.5
	25°	1.5	1	—	1	1	2.5	1.5	—	2	1.5	3.5	2.5	—	3	2.5	5.5	4	—	5	3.5
1:0.5	35°	4.5	3.5	2	4	3.5	5.5	5.5	3	5.5	5	8	8	4.5	8.5	6.5	8.5	8.5	7	8.5	8.5
	30°	3	2	—	2.5	2.5	4.5	3.5	0.5	4	3.5	6.5	5	1	6	5	8	8	3	8.5	7
	25°	2	1	—	1.5	1.5	3	2	—	2.5	2.5	4.5	3	—	4.5	3.5	6.5	5.5	—	7	5.5

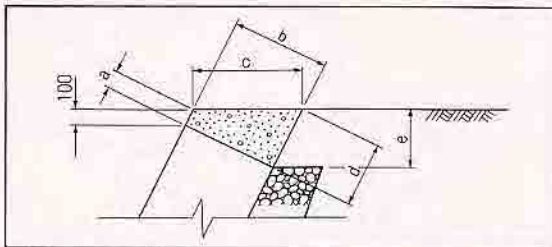
## 練積の場合

単位：段

法勾配	土の内部摩擦角 (φ)	50型					70型					100型					150型				
		I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V
1:0.3	35°	3	2	1	2	1.5	4.5	3.5	2	3.5	2.5	6.5	5.5	2.5	5.5	3.5	9	9	5	9	5.5
	30°	2.5	1.5	—	1.5	1	3.5	2.5	—	2.5	1.5	5	3.5	0.5	4	2.5	7	6.5	2	6.5	4
	25°	1.5	0.5	—	1	1	2.5	1.5	—	1.5	1	3.5	2.5	—	2.5	2	5.5	4.5	—	4.5	3
1:0.4	35°	4	3	1.5	3	2.5	5.5	4.5	2.5	4	3.5	7.5	7	3.5	7	5	11	11	6	11	7.5
	30°	3	2	—	2	1.5	4	3	—	3	2.5	6	4.5	1	5	3.5	7.5	7.5	2.5	7.5	5.5
	25°	2	1	—	1	1	3	2	—	2	2	4	3	—	3.5	1.5	6.5	5.5	—	6	4
1:0.5	35°	5.5	4.5	2	4.5	4	7.5	6.5	3.5	7	5.5	9.5	9.5	5	10	7.5	11	11	7.5	11	10
	30°	3.5	2.5	—	3	2.5	5.5	4	0.5	4.5	4	7.5	6	1.5	7	5.5	9.5	9.5	4	11	7.5
	25°	2.5	1.5	—	2	2	3.5	2.5	—	3	3	5	4	—	5	4	7.5	6.5	—	8	6.5

# 天端工

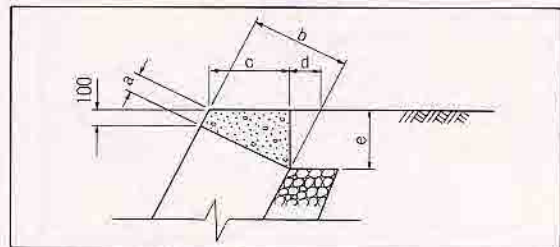
## ケースI



寸法および材料表

法勾配	呼び名	寸法 (mm)					延長10m当り	
		a	b	c	d	e	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	コンクリート量 (m <sup>3</sup> )
1:0.3	50型	104	500	522	254	243	3.59	0.90
	70型	104	700	731	314	301	4.19	1.46
	100型	104	1,000	1,044	404	387	5.09	2.54
	150型	104	1,500	1,566	554	531	6.59	4.94
1:0.4	50型	108	500	539	308	286	4.15	1.04
	70型	108	700	754	388	360	4.95	1.74
	100型	108	1,000	1,077	508	472	6.15	3.08
	150型	108	1,500	1,616	708	657	8.15	6.12
1:0.5	50型	112	500	559	362	324	4.74	1.19
	70型	112	700	783	462	413	5.74	2.01
	100型	112	1,000	1,118	612	547	7.24	3.62
	150型	112	1,500	1,677	862	771	9.74	7.31

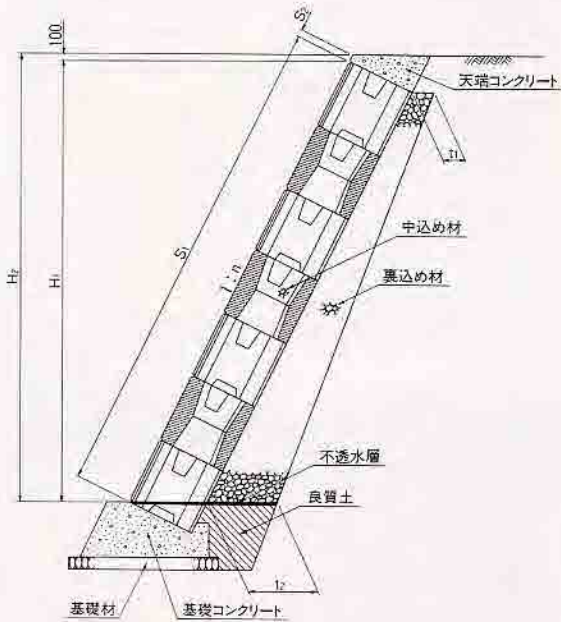
## ケースII



寸法および材料表

法勾配	呼び名	寸法 (mm)					延長10m当り	
		a	b	c	d	e	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	コンクリート量 (m <sup>3</sup> )
1:0.3	50型	104	500	449	73	243	3.48	0.81
	70型	104	700	641	90	301	4.01	1.33
	100型	104	1,000	928	116	387	4.92	2.32
	150型	104	1,500	1,407	159	531	6.35	4.51
1:0.4	50型	108	500	425	114	286	3.93	0.88
	70型	108	700	610	144	360	4.68	1.48
	100型	108	1,000	888	189	472	5.79	2.63
	150型	108	1,500	1,353	263	657	7.65	5.26
1:0.5	50型	112	500	397	162	324	4.35	0.92
	70型	112	700	576	207	413	5.25	1.58
	100型	112	1,000	844	274	547	6.59	2.87
	150型	112	1,500	1,291	386	771	8.83	5.82

### 擁壁寸法



単位：m

法勾配	1:0.3	1:0.4	1:0.5
$S_1$	1.000	1.008	1.012

### 寸法表

単位：m

区分 段数	$S_1$	1:0.3		1:0.4		1:0.5	
		$H_1$	$H_2$	$H_1$	$H_2$	$H_1$	$H_2$
1	1,000	0.958	1.058	0.928	1.028	0.894	0.994
1.5	1,500	1.437	1.537	1.393	1.493	1.342	1.442
2	2,000	1.916	2.016	1.857	1.957	1.789	1.889
2.5	2,500	2.395	2.495	2.321	2.421	2.236	2.336
3	3,000	2.873	2.973	2.785	2.885	2.683	2.783
3.5	3,500	3.352	3.452	3.250	3.350	3.130	3.230
4	4,000	3.831	3.931	3.714	3.814	3.578	3.678
4.5	4,500	4.310	4.410	4.178	4.278	4.025	4.125
5	5,000	4.789	4.889	4.642	4.742	4.472	4.572
5.5	5,500	5.268	5.368	5.107	5.207	4.919	5.019
6	6,000	5.747	5.847	5.571	5.671	5.367	5.467
6.5	6,500	6.226	6.326	6.035	6.135	5.814	5.914
7	7,000	6.705	6.805	6.499	6.599	6.261	6.361
7.5	7,500	7.184	7.284	6.964	7.064	6.708	6.808
8	8,000	7.663	7.763	7.428	7.528	7.155	7.255
8.5	8,500	8.142	8.242	7.892	7.992	7.603	7.703
9	9,000	8.620	8.720	8.356	8.456	8.050	8.150
9.5	9,500	9.099	9.199	8.821	8.921	8.497	8.597
10	10,000	9.578	9.678	9.285	9.385	8.944	9.044

### 壁高と裏込め材厚

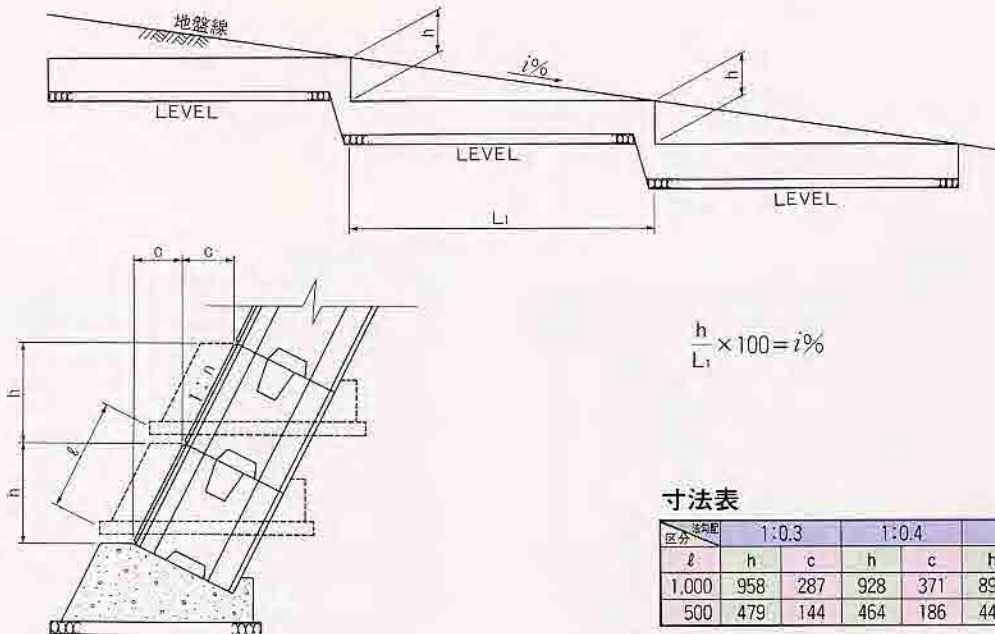
- 裏込め土が良好の場合は下表の小さめの値を、良くない場合は大きめの値を用います。

単位：cm

壁高(H)	0~1.5m	1.5~3.0m	3.0~5.0m	5.0~7.0m
厚さ(cm)	$t_1$	$t_2$	$t_3$	$t_4$
	20~40	20~40	20~40	20~40
	30~60	45~75	60~100	80~120

- 良く締まった地山を切り取って擁壁の設置を行う場合は、上下等厚とし、厚さは20cm~40cmとします。

### 縦断勾配



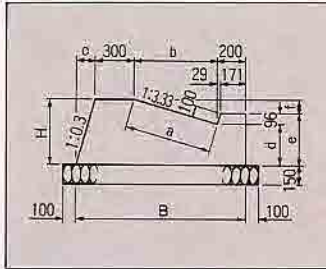
### 寸法表

単位：mm

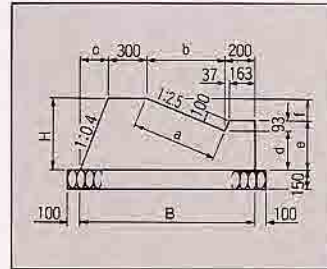
区分	1:0.3		1:0.4		1:0.5	
	h	c	h	c	h	c
1,000	958	287	928	371	894	447
500	479	144	464	186	447	224

### 基礎工

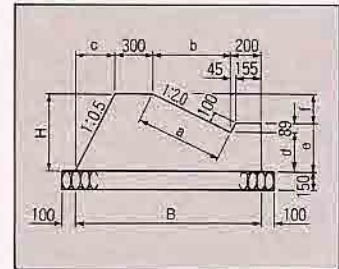
1 : 0.3



1 : 0.4



1 : 0.5



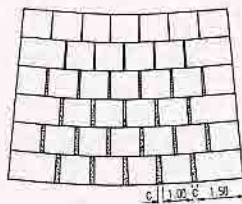
寸法および材料表

法勾配	呼び名	寸法 (mm)								延長10m当り		
		H	B	a	b	c	d	e	f	型枠面積 (m <sup>2</sup> )	コンクリート量 (m <sup>3</sup> )	基礎材量 (m <sup>3</sup> )
1:0.3	50型	450	1,114	500	479	135	306	402	48	9.72	4.25	1.97
	70型	500	1,320	700	670	150	299	395	105	10.17	5.33	2.28
	100型	600	1,638	1,000	958	180	313	409	191	11.35	7.52	2.76
	150型	750	2,162	1,500	1,437	225	319	415	335	12.98	11.59	3.54
1:0.4	50型	500	1,164	500	464	200	314	407	93	10.46	4.69	2.05
	70型	550	1,370	700	650	220	290	383	167	10.75	5.73	2.36
	100型	700	1,708	1,000	928	280	329	422	278	12.76	8.68	2.86
	150型	900	2,253	1,500	1,393	360	343	436	464	15.05	13.83	3.68
1:0.5	50型	550	1,222	500	447	275	326	415	135	11.30	5.17	2.13
	70型	600	1,426	700	626	300	287	376	224	11.47	6.21	2.44
	100型	800	1,794	1,000	894	400	353	442	358	14.36	10.02	2.99
	150型	1,000	2,342	1,500	1,342	500	329	418	582	16.36	15.23	3.81

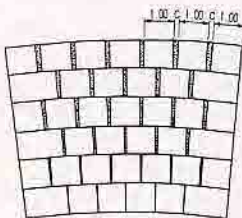
### 曲線部の設計

曲率半径の大きい場合

外カーブ



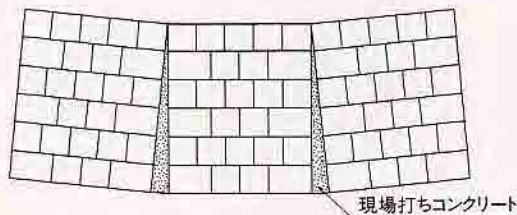
内カーブ



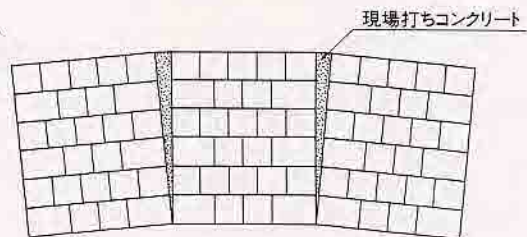
C: 目地間隔

曲率半径の小さい場合

外カーブ



内カーブ



寸法表

単位: mm

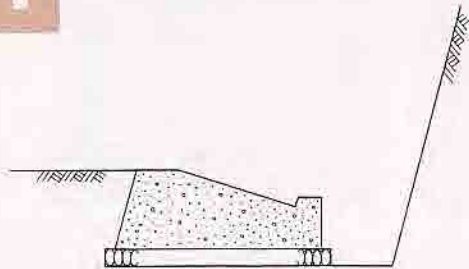
法勾配	半径 (m)	積段数									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1:0.3	20	14	29	43	58	72	86	101	115	129	144
	30	10	19	29	38	48	58	67	77	86	96
	50	6	12	17	23	29	35	40	46	52	58
	80	4	7	11	14	18	22	25	29	32	36
	100	3	6	9	12	14	17	20	23	26	29
1:0.4	20	19	37	56	74	93	111	130	149	167	186
	30	12	25	37	50	62	74	87	99	111	124
	50	7	15	22	30	37	45	52	59	67	74
	80	5	9	14	19	23	28	33	37	42	46
	100	4	7	11	15	19	22	26	30	33	37
1:0.5	20	22	45	67	89	112	134	157	179	201	224
	30	15	30	45	60	75	89	104	119	134	149
	50	9	18	27	36	45	54	63	72	81	89
	80	6	11	17	22	28	34	39	45	50	56
	100	5	9	13	18	22	27	31	36	40	45

(注) 目地間隔の最大は50mmを標準とします。

外カーブの場合は、天端部で目地間隔が無くなるように、法尻部の目地間隔を調節しますが、施工に際しては、誤差を考慮して、更に5mm程度の余裕をみて下さい。

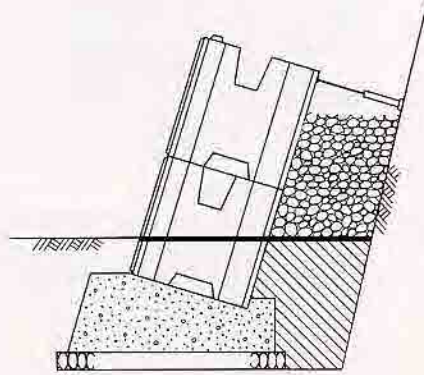
1

所定の基礎を設けます。



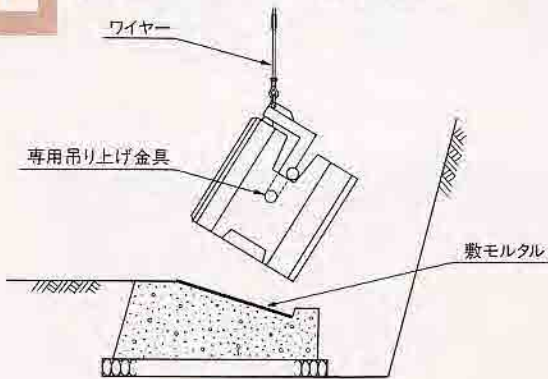
4

2段目のブロックは、係合突起を凹溝へかみ合わせながら配列し、同様の手順で組積します。



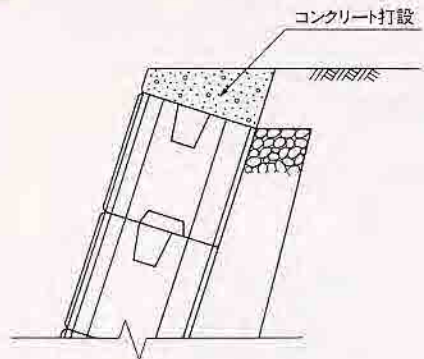
2

吊り上げ金具を用い、クレーンで吊り上げ静かに基礎コンクリート上に据え付けます。



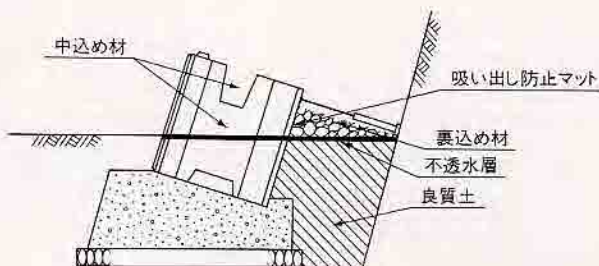
5

天端処理は、図のようにコンクリートを打設し、擁壁の構築を終了します。



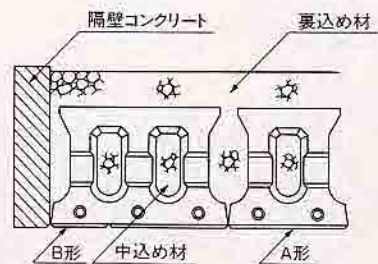
3

1段目の配列を終えたら、所定の中込め材と裏込め材を入れます。ブロック背面には必要に応じて、土砂の吸い出し防止マットを張ります。



6

奇数段の端部には図のようにB形を使用します。また、端部には隔壁コンクリートを打設します。





鹿児島県 県道桜島港～黒神線道路改良工事



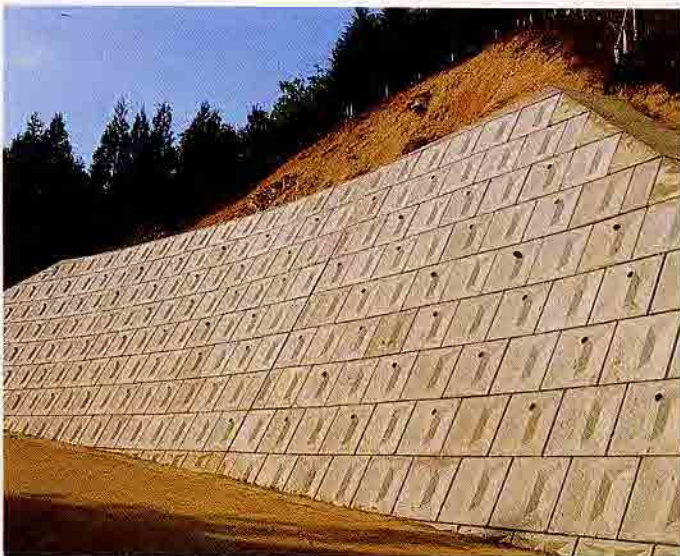
愛媛県 落合久万線ふるさとづくり関連道路整備工事



青森県 国道338号道路改良工事



鹿児島県 緊急地方道路整備工事



茨城県 4国補大北川総合開発事業

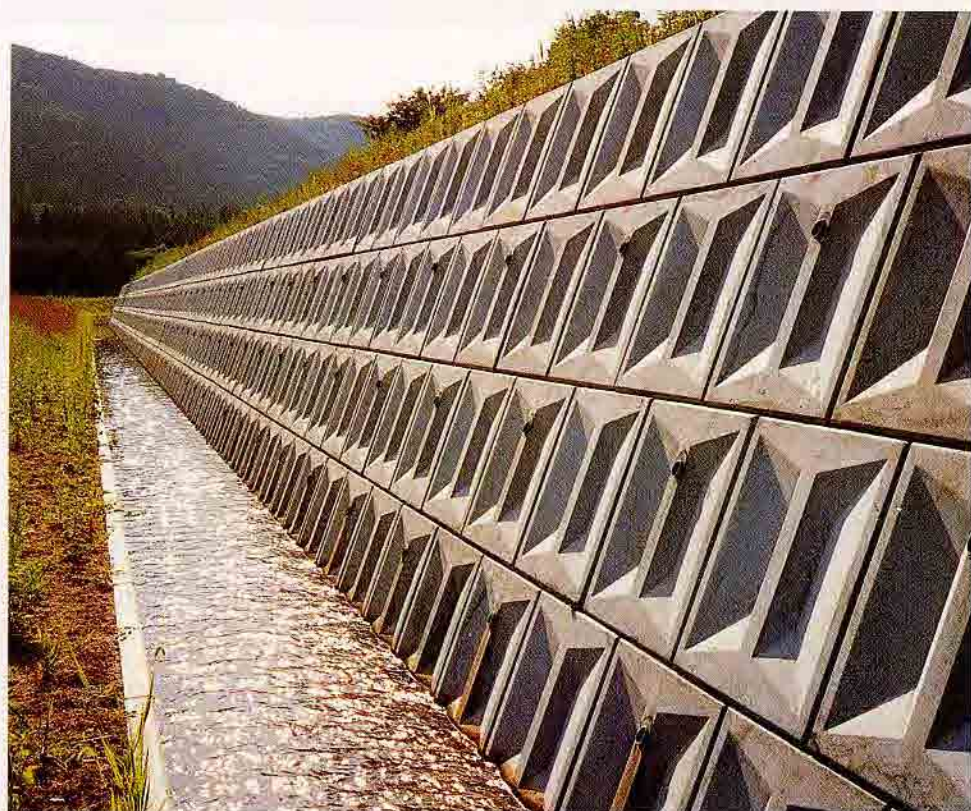


東京都 網代第一トンネル工事





三重県 国道25号整備工事



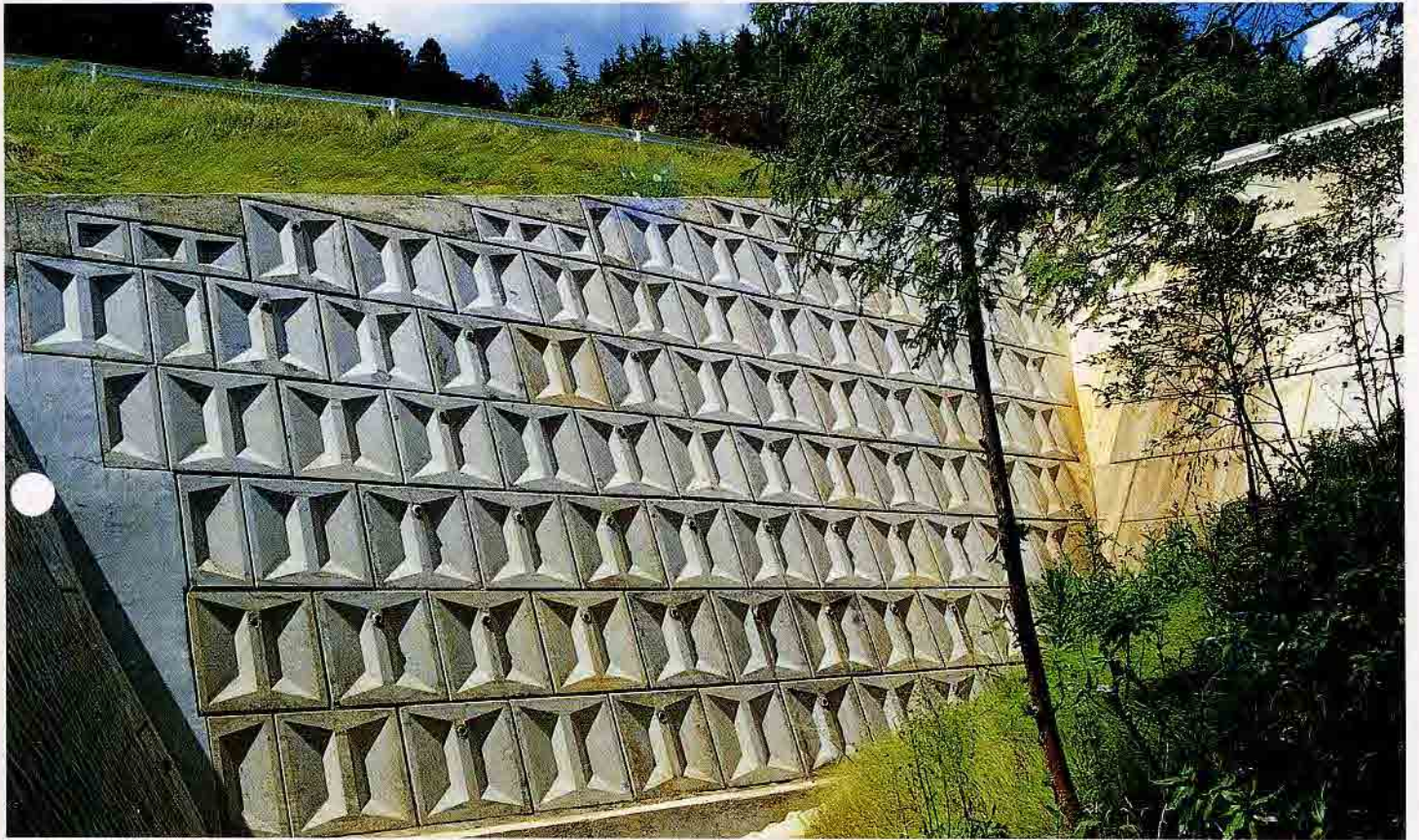
秋田県 中小河川改良工事(引欠川)



愛知県 交通安全対策事業公安改築工事



愛知県  
大高緑地園路整備工事



三重県 関町総合スポーツ公園道路新設工事



京都府 民間敷地造成工事



鹿児島県 農村基盤整備事業(八反田地区)